

全国地域活性化支援機構 平成 27 年度事業計画

地域における地理空間情報の普及啓発、行政支援、並びに計測技術の新たなニーズへの対応と市場づくりに関する調査研究活動を通して、地域における地理空間社会の実現と市場創出型産業を育成し、地域での雇用創出と活力あるまちづくりを目指して、以下の事業を実施する。

1. 広報普及活動

- 1) ホームページの充実
- 2) 地理空間情報並びに計測技術に関する情報収集・提供
- 3) 関係省庁及び関係団体への交渉と情報収集、事業化への要望
- 4) 広報誌・報道の有効活用
- 5) 当機構の技術者、保有機器に関する資料整備と公開

2. 新技術・新ニーズの調査研究

- 1) 新技術・新ニーズの情報収集、提供（情報収集と活用ツールの作成）
*会員との連携による新ビジネス、新事業の開発
- 2) 新規事業提案活動の促進（建設関連業依存からの脱却）
- 3) 異業種との連携
- 4) 新ビジネスモデルの構築（PFI・PPP／受注生産からの脱却）

◎新商品、新事業への取り組みテーマ（27.3.31 現在）

- ・NTT 空間情報地図コンテンツ(GEOSPACE)を活用した事業創出
- ・橋梁診断カメラシステムを活用した橋梁診断
- ・赤外線カメラと KUMONOS を活用した建築物外壁診断
- ・地上レーザーを活用した商品開発（ソフト開発の促進）
*斜面崩壊危険箇所調査、構造物老朽化調査等
- ・UAV による撮影・図化と 3D 映像を活用した商品開発
*ため池管理業務、河川管理業務、遺構調査、工場レイアウト等
- ・MMS を活用した商品開発
*地籍調査の効率化の検討、道路安全施設調査、路面性状調査等
- ・公資産台帳整備と公会計システム
- ・農業用ため池管理システムの構築

- ・自動走行ボートを活用した商品開発
 - *水資源調査、農業用ため調査等
- ・漏水管理と水運用を目的とした上水道管理システム
 - *図面・台帳の管理システムからの脱却

3. 行政支援活動

- 1) 行政支援ツールの整備と普及
 - *避難者行動要支援者運営システムの普及
 - *橋梁簡易診断システム「視る&診る」の普及
 - *ため池管理支援システムの普及 (3D 映像管理)
- 2) 行政支援体制の整備と特別会員 (地方自治体) の勧誘
- 3) 行政支援の実績づくり
 - *耐災害情報通信ネットワークの整備と ICT 街づくり事業支援
 - *新・地域再生マネージャー事業 (ふるさと財団) 支援
- 4) 直轄業務支援
 - *住民と作るハザードマップ作成、住民と作る安全な街づくり構想等

4. 技術認定等の調査研究

- 1) 当機構が扱う技術の技術認定証書と技術者証の付与
 - *KUMONO 技術認定講習会
 - *リノベーション・マネジメントにかかる改修工事診断技術講習会
- 2) 地域技術者の育成と地域創設企業のレベルアップ
 - *UAV 活用技術講習会 (撮影・図化・3D モデル構築)
 - * * 3D レーザー活用技術講習会 (ヘリ、地上、MMS)

5. 地域創設企業の育成と諸研修活動

- 1) 会員向けセミナー (技術セミナー、経営セミナー)
- 2) 行政向けセミナー

以上